

銚子市公立保育所関係者再編方針（案）説明会 （市民説明会第1回） 概要

- 1 日時 令和2年1月12日（日） 午後2時から午後3時30分
- 2 場所 市民センター 会議室1・会議室2
- 3 参加者

市民	事務局職員	合計
23名	5名	28名

4 概要

- (1) 事務局職員紹介
- (2) あいさつ（山口子育て支援課長）
- (3) 内容説明（神崎課長補佐）
- (4) 質疑応答

【市民】

なぜ、海鹿島保育所の閉所が一番先なのか。

【事務局】

第一保育所閉所後、引き続き再編を検討することとなっていたが、検討が遅れていた。子どもの数の減少に合わせて財政上、今後も四つの保育所を維持し続けるのは難しい。どこを閉所するかということではなく、どこを残していくかという検討。市の中央から西に居住する保護者が入所で苦勞している現状も窓口でのやり取りで深く感じており、転所での影響が少なくなるように第四保育所と第二保育所を残すという提案をさせていただいた。

【市民】

行革の支出削減の流れで、保育所の再編、海鹿島保育所閉所になったのでは。

【事務局】

第一保育所閉所後も引き続き保育所再編を検討することになっていたが、具体的な検討はしていなかった。確かに行革は再編のスピードを上げるきっかけにはなった。支出の削減の必要性はあるが、海鹿島保育所を閉めるために検討を行ったわけではない。

【市民】

子ども・子育て会議 15名の委員に海鹿島保育所の指定管理者である社会福祉事業団が選ばれていないのは遺憾である。入っていない理由は。

【事務局】

子ども・子育て会議は各方面の人材を選定し、平成30年5月からの任期中で委員を依頼し、今回は再編について意見を頂いてきた。意図して会議メンバーに含めなかったわけではない。

【市民】

海鹿島保育所は公設民営で運営している。民間と捉えることはできないのか。そうであれば、銚子市公立保育所再編方針から除外されると思うが。

【事務局】

海鹿島保育所は公設。民間は自己所有の土地建物で施設整備まで含めて運営していく法人の場合であり、銚子市所有の土地建物の海鹿島保育所を指定管理という形で運営しているので、公立保育所ということになる。

【市民】

海鹿島保育所はそれほど市の財政負担になっているのか。聞くところによると交付税で措置されているとのことだが、海鹿島保育所に対する市の負担は少なく財政上の問題からも除外されるのではと考えるが。

【事務局】

交付税措置はされているが、海鹿島保育所に対する支出のうち交付税でいくらくるのかということは正確な数字ではお答えできないが、全て交付税で措置されるわけではなく市の負担はある。

【市民】

老朽化について専門家の現地調査はしたのか。

【事務局】

建物自体は古いが丁寧に使っている印象はある。ただし、水道管など表から見えない部分の修繕が出てきた時に、急遽の対応が財政的に難しい状況である。

詳しい調査は実施していない。

【市民】

子どもの数は減少していても、働くお母さん方は増えている。海鹿島保育所では29名の未満児保育を行っている。このことについてはどのように考えるか。

【事務局】

未満児保育の重要性は認識している。3歳未満児がそれほど減少しないことも

認識している。それでも今回は待機児童を出さない見込みの再編の案を示した。

【市民】

再編方針策定の背景に「単に財政の効率化も求めるだけでは無く子ども達がより良い環境の中で成長し、保護者が安心して子育てができる環境を整えることが重要」とあるが、海鹿島保育所はこのような環境を満たしているといえる。閉所は相反するのでは。

【事務局】

数が減ることだけ見れば、環境の整備とはいえないが、より良い保育環境の整備という点で、残そうとする第二保育所には一時預かり事業がある。保育所は入所しているお子さんのためだけにあるのではなく、通っていないお子さんのためにも必要。保護者が病院受診をする際に 3 時間だけ預かって欲しいなどのニーズに応えることも必要。

【市民】

海鹿島保育所は、あの場所に意味があると思っている。他の保育所の立地が悪いわけではないが、あの場所を超える保育所はないと思う。海に歩いて行ける。高台の固い岩盤の上にある。出荷量日本一の春キャベツの畑に囲まれている。銚子電鉄が見え、景勝地の君ヶ浜、犬吠埼にも近い。

【事務局】

皆さんに知っていただきたいので、ほかの保育所の立地、環境について説明させていただく。第二保育所は玄関前が後飯町公園。保育時間に公園を使うことも多く、0歳児も公園に散歩に出かける。第三保育所は子どもの足で歩いて10分程度の場所で、地域の方が作ってくださった畑でサツマイモ堀りをおこなっている。第四保育所は清川町第二公園に出かける。交通事故を心配する声もあろうかと思うが、当然保育士が入念に下調べを行い、多少遠くても安全な道を選んで出かけたりにしている。

【市民】

保育所よりも、小中学校で集団生活を本格的に経験していければよいのでは。

【事務局】

保育所保育指針では、「小学校に就学する前までの子どもに保育所でこのような経験をさせていってください。」ということが記載されている。その中に「集団の生活を通して」というものがある。

海鹿島保育所の先生方は努力と工夫で、4歳児5歳児を同じ教室で保育している。しかし、4歳児のできることと5歳児のできることは違う。大きな集団の

中で保育していくことに実は意味があり、職員の胸の内には苦しいものがあるのではと推察する。

保育所の数を減らすということに拘っているというよりも、一定数以上のお子さんで活動できる状況というのも念頭に置き再編を考えていることも皆さんに知っていただけたらと思う。

【市民】

この保育所再編方針は案ですか。決定ですか。

【事務局】

ここにあるように、現時点では（案）。確定した方針にするために、パブリックコメントの実施や、みなさんに説明させていただいている状況。

【保護者】

噂で聞いたが、保育所再編のきっかけが「民間保育所連絡協議会からの要望」というのは事実か。また、その要望に公立の定数を減らすことも含まれていたと聞いたが可能なのか。定数を減らすという方向ではないのは何故か。

【事務局】

公立保育所の再編について、平成30年11月に民間保育所連絡協議会から保育行政に関する要望書の提出があった。その中に、第二保育所、第三保育所、第四保育所の定数削減をしてはどうか、加えて海鹿島保育所の閉所を検討してはどうか、と要望書があった。ただ、この要望書が提出されたから再編を進めるわけではなく、改めて再編方針案を検討した。

なぜ、定数削減ではないのかということ、施設の維持改修経費の負担が大きいという点が再編の理由の一つになっている。

長い目でみると各保育所はどこかの時点で大規模な改修が必要になってくる。コンクリート造りであっても、最終的には建て替えの問題も出てくるが、現時点でも、比較的大きな改修が必要であり、四つの保育所すべてを賄うのは厳しいので、施設を集約しそこに集中して財源を投じていくという考えであり、そのため定数削減ではなく、二つにするという案を提示させていただく。

【保護者】

ほかの公立と比較し、第三保育所と海鹿島保育所は駐車場があると見受けられる。再編後、駐車場についてどのようにしていくのか。

【事務局】

第四は駐車場がなく、第三も保育所敷地に7台分程度ほか職員が借りている駐車場の空きスペースを使っている。第二は保育所の前に7～8台、駐車場の件

は課題と認識している。

【市民】

保育所を移るとなると環境が変わり、子どもの負担は大きいと考えるが、第一保育所が閉所した際にどのような対応を取ったのか。

【事務局】

閉所となった場合には、在籍しているお子さんには他の保育所に移っていただくこととなり、環境が変わることが負担という保護者の不安もわかる。

今、保育所再編を提示しているのは、突然、時間の無い中で保育の環境が変わるというのを避けるために、このような内容を提示した。

第一保育所閉所の前には第三保育所との交流を行い、様々な行事を一緒に行った。ただし、すべての児童が第三保育所に移ったわけではなく保護者の希望、子どもの相性などで、他の保育所に移った方もいた。

ほかの保育所を検討するにも時間は必要なので、3年間の間に検討していただければと思う。

意見

○ 書面からでは地域との繋がりが深い保育所であることが、理解してもらえないと感じられない。位置的な条件で海鹿島保育所が残る保育所に選ばれないというのは残念。

○ 海鹿島保育所は財政負担となっているのか、修繕費についてそれほど大きな額ではない。

○ 海鹿島保育所の環境、様々なニーズも含めて再度検討していただきたい。

○ 保護者としては、保育所の数を減らすことがおかしいと思う。

○ 出生率の低下は全国的な問題であるが、銚子はそれに加えて近隣市に子育て世代が転出しているという現状がある。それにより人口減少のスピードが加速している。

○ 市の財政状況や人口減少は理解しており、中学校の再編や今後話し合われるだろう小学校の再編は致し方ないと思うが、保育所の再編は一番最後にして欲しい。小中学校は本格的に集団での経験をしていく必要があると思う。また、小中学校は通学の足さえ確保できれば何とかなる。

○ 税金の無駄遣いは避けるべきだが、教育と子育て支援にかかる費用は削るべきではないと思う。

○ 保育所の再編は考え直していただき、このまちの教育と保育、子育て支援がどうあるべきかというのをもっと真剣に考えていただきたい。

○ 子どもたちが、一度銚子を離れ自分のスキルを身に付けた後、戻ってきた

いと思うかどうかは子どもの時の過ごし方だと思う。子どもの郷土愛を育むのは親の姿勢だが、週の大半を過ごす保育所の環境は大いに影響を与えると思う。

○ 人間関係が希薄になっている現在においても長年培ってきた地域との繋がりが、地域に守られ、地域とともに育ってきた海鹿島保育所は地域の子育て支援の拠点になっている。

○ キャベツ畑に囲まれ、海に近い高台、固い岩盤の上に建ち、銚電が近くを走っているという海鹿島保育所の環境は、銚子への郷土愛を育むのには最適な場所。

○ 海鹿島保育所は海に近いということもあり、子ども達はジオの体験もしている。

○ 様々な理由で預ける保護者のかわりに愛情をかけてもらえるのが保育所だと思う。海鹿島保育所は人数は少ないが先生方の努力もあり、とても上手くいっている保育所。

○ 同じ年の子が多ければできることも沢山あると思うが、果たして愛情の面はどうなのかと疑問を感じる。小ぢんまりとしていて、先生方が園児全員の顔と名前を憶え、クラスも分け隔てなく接してくれる海鹿島保育所に魅力を感じる。

○ 保育所があるから子どもが増えるというものではないことは承知しているが、保育所が無くなると働きづらくなり、人口流出の速度を加速させるような公立保育所の再編については見直して欲しい。